

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年6月22日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから6月22日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をいたします。

まずは1番の原子力規制委員会の関係です。

(1) 第15回原子力規制委員会。議題は6つございます。

議題1、中国電力株式会社島根原子力発電所2号炉の発電用原子炉設置変更許可申請書に関する審査の結果の案の取りまとめ（案）。こちらは中国電力島根原子力発電所2号機の設置変更許可に関しまして、審査書の案の取りまとめと、それ以外に意見募集と原子力委員会、経済産業大臣への意見聴取について委員会に諮るものです。

議題2、日本原燃株式会社濃縮・埋設事業所第二種廃棄物埋設事業変更許可申請書に関する審査の結果の案の取りまとめ（案）。こちらは日本原燃廃棄物埋設施設の事業変更許可に関しまして、審査書の案の取りまとめのほか、意見の募集と経済産業大臣への意見聴取の実施について委員会に諮るものです。

議題3、審査実績を踏まえた規制基準等の記載の具体化・表現の改善のための関係規則解釈等の整備について（案）。こちらは3月31日の原子力規制委員会におきまして、規則の解釈や審査ガイドの改正案について意見募集の実施が了承されました。今回はその意見募集の結果を報告するとともに、規則の解釈と審査ガイドの改正の決定を委員会に諮るものです。

議題4、日本原子力学会標準「中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順」に係る技術評価の実施。こちらは5月12日の原子力規制委員会におきまして、日本原子力学会の作成している規格につきまして、技術評価を行う了承が得られました。今回はその技術評価の検討体制について委員会に諮るものです。

議題5、高速実験炉「常陽」における大規模損壊に対する対応等の整理。こちらは5月26日の原子力規制委員会におきまして、高速実験炉「常陽」の審査方針の案が審議されました。その際に、「常陽」における大規模損壊対策の必要性を整理するよう指示を受けたことから、事務局、規制庁の考え方を報告し、委員会で議論をいただくものです。

最後です。議題6、国際原子力機関（IAEA）による「2020年版保障措置声明」の公表。

こちらはIAEAが2020年中に行いました保障措置活動の評価結果を公表したことから、その公表内容を報告するものです。

定例会の関係は以上となります。

続きまして、その下の(2)第16回原子力規制委員会臨時会議。こちらは6月23日水曜日の16時からとなります。

議題は、情報システムセキュリティに関する核物質防護措置に係る審査基準の改正案の作成等の進め方。こちらですが、4月20日の規制委員会臨時会議におきまして、サイバーセキュリティに関する核物質防護措置の審査基準の改正方針について審議されました。その際に審査基準の改正案を作成する過程での規制庁内の作業の進め方について検討、報告するよう指示があったことから、その検討結果を委員会に諮るものです。

規制委員会の関係は以上となります。

続きまして、2番の審査会合等の関係になります。

1枚おめくりいただいて、2ページ目の真ん中を御覧ください。6月25日金曜日、(5)第986回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。

議題ですが、電源開発大間原子力発電所の設置変更許可に関しまして、後期更新性以降に岩盤の膨張で生じたと事業者がしている変状についての令和元年11月29日の会合のコメント回答を受けるものです。

続きまして、1枚おめくりいただいて3ページ目を御覧ください。

一番上から行きます。6月28日月曜日、(7)第407回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合。

議題1は、日本原燃の再処理施設と廃棄物管理施設の事業変更許可に関しまして、今回は再処理施設の有毒ガス防護対策についての5月17日の会合のコメント回答を受けるものです。

続きまして、議題2は、日本原燃の再処理施設とMOX加工施設に関しまして、2つ手続があるのですが、まず設計工事計画認可につきましては論点が3つあります。1つ目が耐震設計に用いる地盤モデルの説明を受けるもの、2つ目が竜巻による飛来物対策の4月27日の会合のコメント回答を受けるもの、3つ目が外部火災対策の5月25日の会合のコメント回答を受けるもの。これらが設計工事計画認可の関係となります。

議題2のもう一つ、使用前事業者検査につきましては、検査の実施方針についての5月25日の会合のコメント回答を受けるものです。

(7)の関係は以上となります。

続きまして、(8)第7回訓練シナリオ開発ワーキンググループ。こちらは山形緊急事態対策監の対応となります。

まず、このワーキンググループですけれども、事業者防災用訓練シナリオを作成するワーキンググループなのですが、まず議題1ですが、これはこのワーキンググループで作成しました緊急時対策所の指揮者用のI型訓練シナリオに関しまして、令和2年度中

の各発電所での訓練結果などについて事業者から説明を受けるものです。

議題2は、Ⅱ型訓練シナリオ、現場の対応能力向上用のⅡ型訓練に関しまして、令和2年度中の訓練結果について説明を受けるものです。

議題3は、このワーキンググループは平成30年から活動しておりますけれども、これまでの活動の成果の振り返りを行うものです。

審査会合の関係は以上となります。

最後に3番になります。

(1) 島根県知事の来訪。これは24日木曜日の10時45分からとなります。規制庁におきまして、島根県の丸山知事が来訪されまして、規制庁長官が各種の要望を受けるものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

それでは、ナカムラさん。

○記者 日本海新聞のナカムラと申します。よろしく申し上げます。

明日の定例会のことについてなのですが、島根原発のことが議題に上がっておりますが、これはもう明日の定例会で結論が出るという理解でよろしいでしょうか。次の手続に向かうというふうに理解してよろしいでしょうか。

○児嶋総務課長 委員会の議論次第ですが、事務方としましては、審査書の案の取りまとめと次の手続に向かうことのご理解を得ようとは思っております。ただ、そこから先は委員会の議論次第になります。

○司会 ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。